

地域医療連携だより

病院の理念
患者本位の医療

基本方針

- ・患者さまの意思を尊重し、信頼される医療を提供します。
- ・地域中核病院として、高度な医療と救急医療の充実に努めます。
- ・急性期病院として関係機関と連携し、地域医療の充実に努めます。
- ・地域がん診療拠点病院として、機能の充実強化に努めます。
- ・臨床研修指定病院として、地域医療を担う優れた医師の育成に努めます。

当院の救急医療の取り組みについて



救急センター統括部長 井上 雅浩

日頃から当院の救急診療に御協力いただき有り難うございます。

当院の救急センターは、救急外来・オーバーナイト8床・HCU11床からなり、二次救急病院として対応しています。

救急外来患者数は平均約63人/日、救急車搬入数は9.8台/日、救急車収容率は約88%でした。特に脳神経外科疾患、緊急カテーテル検査を必要とする循環器疾患は極力受け入れております。

医療体制については、平日日中は各科オンコール体制で行い、休日・夜間帯の診療は内科系1名、外科系1名、産婦人科1名の当番制で対応しています。小児科は医師会の先生方の支援を仰ぎながら西毛地区輪番制の中での対応となっております。当該診療科以外で専門的治療を必要とする場合には、オンコールにより対応しています。耳鼻科、眼科、皮膚科、心療内科など入院棟に常時医師のいない科の専門的対応はできない状況です。

救急診療以外の取り組みとしては救急隊との連携活動（オンラインでの指示、事後検証など）、院内外に対するICLSなどの普及活動、災害拠点病院としての準備などを行っております。

課題としては、医師会の先生方にも大変お世話になっております小児救急の問題、ERスタッフの確保、入院患者の高齢化に伴う在院日数の長期化、病床満床時の対応、いつ起こるかわからない災害時医療対策など多々あります。

この地域の救急医療に対しては、先生方との連携を密にし、新しい情報を取り入れながら一緒に考えていくことが大切であるかと思えます。今後ともよろしく願いいたします。

救急センターのご紹介



救急センター看護師長 千木良 直子

当院の救急センターは、月約2,000人の救急患者と月約300件の救急搬送を受け入れています。緊急内視鏡検査と心臓カテーテル検査は24時間体制で対応しています。

看護師は、救急認定看護師を中心に救急医療と看護のスキルアップに努めています。その一環として地域連携の強化を目的に、今年度より藤岡消防署にご協力していただき、看護師の救急車同乗実習を開始致しました。救急救命士の活動を目のあたりにすることで、改めて病院前救護の難しさや苦労を実感しています。

昨今の救急医療の現場では、軽症者の救急外来受診（コンビニ化）や救急車のタクシー化、医師の激務など様々な問題がありますが、それらを検討しながら、地域医療に役立つよう励んでいきたいと思えます。それには地域医療に関わる皆様のご協力なしには成り立ちません。日ごろお世話になっている皆様方に感謝するとともに、今後ともよろしく願い申し上げます。



救急センター



オーバーナイト



HCU

救急センター小児科診療体制のお知らせ

西毛地区輪番病院群で小児科医の欠員が発生したため、11月より当院で対応していた西毛ブロック輪番日、第2・第3・第4木曜日の診療ができませんとなりました。

また、時間外診療として土曜日の午前中と輪番日以外の日の19時までの紹介・救急車の受け入れを従来行なっておりましたが、対応できなくなりました。

周産期新生児の紹介受け入れについても対応できなくなりました。

ご迷惑をおかけいたしますがご理解とご協力をお願い致します。

	西毛地区ブロック輪番日
1	第1月曜日
2	第1木曜日
3	第2日曜日
4	第2木曜日 *
5	第3木曜日 *
6	第4日曜日
7	第4木曜日 *
8	第5日曜日
9	第5月曜日
10	第5木曜日

救急センター
休日・夜間
小児科診療体制
(西毛ブロック輪番日)

* 11月から診療がなくなる日

12月

- 7日(火) 研修医症例検討会【附属外来センター】
[当院研修医7名による症例検討発表会]
15日(水) がんサロンの集い【附属外来センター】
[薬剤師による抗がん薬について]

1月

- 10日(月) 第8回藤岡ICLSコース【附属外来センター】
[医療従事者のための蘇生トレーニングコース]

行事予定

お問合せ
地域医療連携課